

課題改善カリキュラム【国語】練馬区立大泉西中学校・大泉西小学校・大泉第三小学校・大泉第四小学校

【課題】 語彙が少なく、言葉の意味を知らない。 漢字の定着が十分ではなく、形の誤りが多い。		【研究テーマ】 言葉を細やかに意識する大泉の子 ～語感を磨き、正しく活用できる児童・生徒の育成～			
学習期	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手立て		
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表の漢字を読むことができる。小学校で学習した漢字の読み書きが正しくでき、日常に活用する。 ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の音読みと訓読みを押さえ、形を捉えて正しく書くことができる力を身につけさせる。 ・文章を読んで出てくる意味の分からない言葉をそのままにせず意味を調べ、また、文章を読みながら、辞書のいくつつかある意味のどの意味で使われているかを考えたりする習慣を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の範囲を決めて定期的に小テストを実施し、その後の振り返りや覚え直しをする。また、フラッシュカードで反復し、定期考査の範囲に入れて定着を図る。 ・多様な語句について・部首以外の部分の形を注視し、繰り返し書いて漢字を覚える。 ・同音の漢字の意味の違いを考えながら熟語が正しく書けるようにする。 ・音読、黙読の時に、分からない言葉にマークを付け、意味をその場で聞いたり、辞書で確かめたりする。 		
小学校	6年	<ul style="list-style-type: none"> ・意味を理解し、関連した様々な言葉を正しく覚え、活用できる力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を指導する際、様々な言葉に意識が向くように、漢字の音訓に着目し、それぞれの漢字のもつ意味を考えながら、正しく使う習慣を付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ訓読みの漢字や音読みの熟語を集め、意味の違いについてまとめ、学んだ言葉を積み重ねていくために文作りや発表、共有していくために掲示などを行う。 	
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の仕方に合わせた言葉の使い方に対する感覚を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語感や様々な表現技法への興味関心を高めるために、慣れ親しむ機会に触れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品づくりや発表などの表現活動を行う。 ・辞書を活用し、自分の表現に合った言葉を選べるようにする。 	
	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の使い方や送り仮名に注意し、文の中で活用できる力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習った言葉を活用する力を付けるために、活用場面を設け、文の中で言葉や漢字を正しく使う力を養わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題等の毎日の積み重ねの中で、言葉を活用する課題に取り組みさせる。 ・定期的にテストを行い、繰り返し取り組みさせる。 	
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な言葉に対する関心を高めるために、教材文や新出漢字との出会いを大切に、言葉の意味や使い方を考えたり、辞書で調べたりする習慣を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室で辞書が手に取りやすい環境を作り、授業中や宿題で辞書を活用し、言葉を調べさせるようにする。 ・新しく出会う言葉を、習った言葉に言い換えたり、どんな場面で使われるか考えたりさせる。 	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく読み、正しく書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の形を正しく捉えられるように、点や画の書き方、とめ、はね、はらいなどを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成り立ちや書き順、画数に着目させ、正しく書けているか確かめさせる。 		
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて出会う言葉の意味に興味を持ち、自分で考えたり、調べたりする意欲や態度を養わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読カードを用いて、日常的に語句のまとまりを意識しながら、音読できるようにさせる。 ・教室に辞書を置き、日常的に言葉を調べられる環境づくりをする。 		

